

～こどもたちの未来を拓く新たなステップ～

鹿沼市立小中学校再編計画

前期実施プラン

【2024～2028】

令和6年11月

鹿沼市教育委員会

目 次

	頁
1. 学校再編計画の全体スケジュール	1
2. 前期実施プラン中の小中学校別の再編方針	2
3. 前期実施プランの実施スケジュール	3
現在の小学校の配置及び学校再編ブロック図	4
現在の中学校の配置及び学校再編ブロック図	5
4. 西小・加園小学校ブロック	6～8
5. 西中・加蘇中学校ブロック	9～11
6. 栗野地区・清洲地区・永野地区・粕尾地区ブロック	12～15
7. 南摩地区ブロック	16～19
8. 板荷地区ブロック	20～22
9. 南押原地区ブロック	23～26
10. 北犬飼地区ブロック	27～30

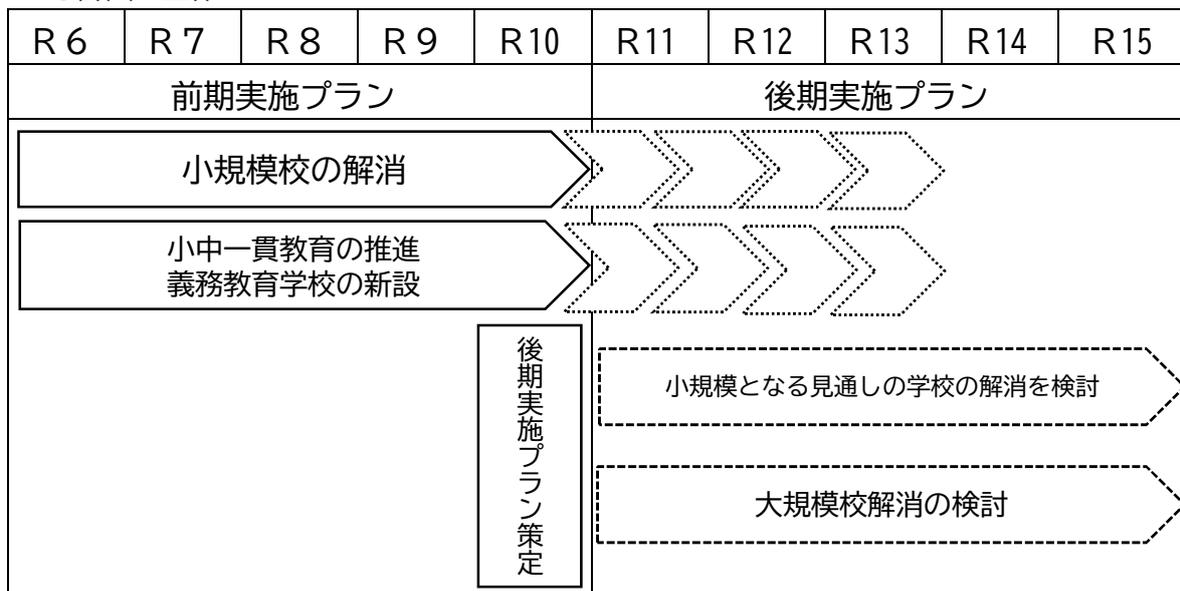
1 学校再編計画の全体スケジュール

○教育環境の格差を是正し、公平な教育環境を確保するためには、市全域的かつ計画的に学校再編を進める必要がありますが、本市における適正配置の実施にあたっては、対象となる小規模校が多く、対象地域も広範囲にわたることから、優先順位をつけて実施していく必要があります。

○また、小規模校となる見通しの学校や大規模校の解消は、児童生徒数の将来予測を勘案した上で、地域の将来的展望に立ち、新設もしくは学区の再編も含め、慎重に検討していく必要があります。

○そのため、事業展開フローを下記のように設定し、令和6～10年度までを前期実施プラン、令和11～15年度までを後期実施プランとして学校再編を図っていきます。

○計画の全体スケジュール



○本市の児童生徒数の将来予測は減少傾向にあり、今後の推移を十分見極める必要性が求められるため、継続的にその動向や事業を検証しながら、その中で社会情勢の急激な変化や法令改正等が生じた場合には、適宜実施プランの見直しを行うものとします。

2 前期実施プラン中の小中学校別の再編方針

再編の必要な小規模校の小学校は11校、中学校は3校あり、「学校の統廃合」や「通学区域の見直し」による解消を目指しています。小中学校ともに小規模校となっている地区については、小学校と中学校の再編を一体的に進めていく必要があります。

また、多様化・複雑化する学校現場の課題に対応していくため、小中一貫教育などの新たな教育制度について、学校再編と併せて積極的に検討します。

児童生徒数の将来見込みや通学距離を考慮した、ブロック別の再編方針は次のとおりです。

No	地区名	学校名	学校規模	目指す再編方針
1	東大芦 加蘇	西小学校 加園小学校	適正規模 小規模	西小学校の校舎を活用し、西小学校、加園小学校の統合を推進します。
2	鹿沼 加蘇	西中学校 加蘇中学校	適正規模 小規模	西中学校の校舎を活用し、西中学校、加蘇中学校の統合を推進します。
3	栗野 清洲 永野 粕尾	栗野小学校 清洲第1小学校 清洲第2小学校 永野小学校 粕尾小学校	適正規模 小規模 小規模 小規模 小規模	栗野小学校の校舎を活用し、栗野小学校、清洲第1小学校、清洲第2小学校、永野小学校、粕尾小学校の統合を推進します。
4	南摩	南摩小学校 上南摩小学校 南摩中学校	小規模 小規模 小規模	南摩小学校、上南摩小学校、南摩中学校の近隣校との統合に向けた検討を行います。
5	板荷	板荷小学校 板荷中学校	小規模 小規模	板荷小学校、板荷中学校の近隣校との統合に向けた検討を行います。
6	南押原	南押原小学校 榆木小学校 (みなみ小学校の一部) 南押原中学校	小規模 小規模 適正規模 適正規模	既存校舎を活用し、南押原小学校、榆木小学校、みなみ小学校(南上野町)を統合し、南押原中学校との小中一貫教育の実施を推進します。
7	北犬飼	石川小学校 津田小学校 池ノ森小学校 (さつきが丘小学校の一部) 北犬飼中学校	適正規模 適正規模 小規模 大規模 適正規模	校舎を新築し、石川小学校、津田小学校、池ノ森小学校、さつきが丘小学校(茂呂)を統合し、北犬飼中学校との義務教育学校の新設を推進します。

3 前期実施プランの実施スケジュール

No	学校名	前期					後期
		6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度～15年度
1	西小学校 加園小学校	説明・合意	開校準備会（2年間）		統合校 スタート		校舎整備
2	西中学校 加蘇中学校	説明・合意	開校準備会（2年間）		統合校 スタート		
3	栗野小学校 清洲第1小学校 清洲第2小学校 永野小学校 粕尾小学校	説明・合意	開校準備会（3年間見込）			統合校 スタート	
4	南摩小学校 上南摩小学校 南摩中学校	地区検討会 再編方針案を検討		結果に基づく再編方針の推進			
5	板荷小学校 板荷中学校	地区検討会 再編方針案を検討		結果に基づく再編方針の推進			
6	南押原小学校 楡木小学校 (みなみ小学校) 南押原中学校	説明	合意	開校準備会（3年間見込）			小中一貫教育 スタート
7	石川小学校 津田小学校 池ノ森小学校 (さつきが丘小学校) 北犬飼中学校	説明	合意	開校準備会（6年間見込）			義務教育学校 スタート 校舎整備

現在の小学校の配置及び学校再編ブロック図

4



現在の中学校の配置及び学校再編ブロック図



4 西小・加園小学校ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、西小学校が適正規模校、加園小学校が小規模校となっています。児童数は、平成25年から令和5年までの10年間で、約28%減少しており、今後10年間で、さらに約43%減少することが見込まれていることから、2つの小学校の統合により、適正規模を確保していきます。

また、西小学校の校舎は建築から50年以上経過しており、改修や長寿命化等の再整備を計画しています。

2. 児童数の推移と今後の見込み

学校名	学年	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年	令和 10 年	令和 15 年
① 西 小 学 校	1 学年	24	32	21	11	16
	2 学年	41	30	21	17	16
	3 学年	35	31	34	13	17
	4 学年	41	40	30	15	10
	5 学年	35	39	35	19	15
	6 学年	29	25	29	22	11
	計	205	197	170	97	85
② 加 園 小 学 校	1 学年	13	7	5	9	5
	2 学年	13	12	9	5	5
	3 学年	14	17	4	8	6
	4 学年	17	14	6	7	2
	5 学年	16	18	7	3	8
	6 学年	11	13	7	5	9
	計	84	81	38	37	35
合 計	1 学年	37	39	26	20	21
	2 学年	54	42	30	22	21
	3 学年	49	48	38	21	23
	4 学年	58	54	36	22	12
	5 学年	51	57	42	22	23
	6 学年	40	38	36	27	20
	計	289	278	208	134	120

3. 小学校の施設概要

	学校名	西小学校
	建築年（経過年数）	昭和 47 年（52 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	3,792 m ² ／19,006 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	加園小学校
	建築年（経過年数）	平成 6 年（30 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	2,929 m ² ／14,147 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 統合の対象となる地域の通学区域図

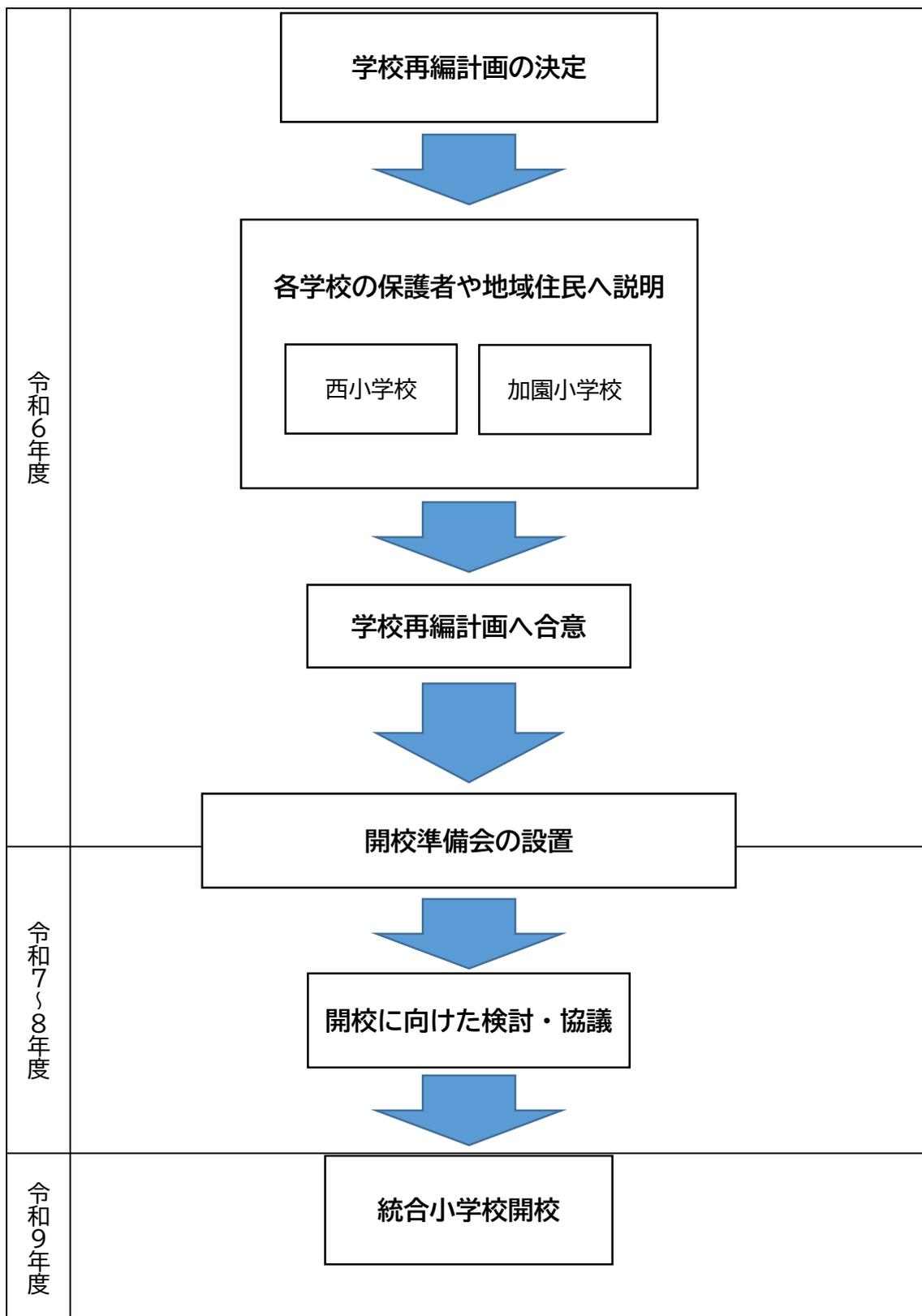
統合となる通学区域は、現在の西小学校、加園小学校の2校の通学区域を合わせた区域とします。なお、新校の通学区域内の町名は、次のとおりです。

- ①西小学校：酒野谷・下日向・上日向・深岩・笹原田・下沢・引田・日吉町の一部・下大久保・上大久保・草久
- ②加園小学校：野尻・加園・下久我・上久我

【通学区域図】



5 開校までのスケジュール



5 西中・加蘇中学校ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、西中学校が適正規模校、加蘇中学校が小規模校となっています。生徒数は、平成25年から令和5年までの10年間で、約17%減少しており、今後10年間で、さらに約38%減少することが見込まれていることから、2つの中学校の統合を推進し、適正規模を確保していきます。

2. 生徒数の推移と今後の見込み

学校名	学年	平成25年	平成30年	令和5年	令和10年	令和15年
① 西中学校	1学年	159	121	115	95	82
	2学年	140	112	113	110	66
	3学年	114	132	123	101	71
	計	413	365	351	306	219
② 加蘇中学校	1学年	15	12	12	12	5
	2学年	13	12	10	6	8
	3学年	19	8	10	8	7
	計	47	32	32	26	20
合計	1学年	174	133	127	107	87
	2学年	153	124	123	116	74
	3学年	133	140	133	109	78
	計	460	397	383	332	239

3. 中学校の施設概要

	学校名	西中学校
	建築年（経過年数）	平成16年（20年）
	構造／階層	鉄骨造／2階建
	床面積／敷地面積	8,623㎡／58,859㎡
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	加蘇中学校
	建築年（経過年数）	平成元年（35年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3階建
	床面積／敷地面積	2,512㎡／16,119㎡
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 統合の対象となる地域の通学区域図

統合となる通学区域は、現在の西中学校、加蘇中学校の2校の通学区域を合わせた区域とします。なお、新校の通学区域内の町名は、次のとおりです。

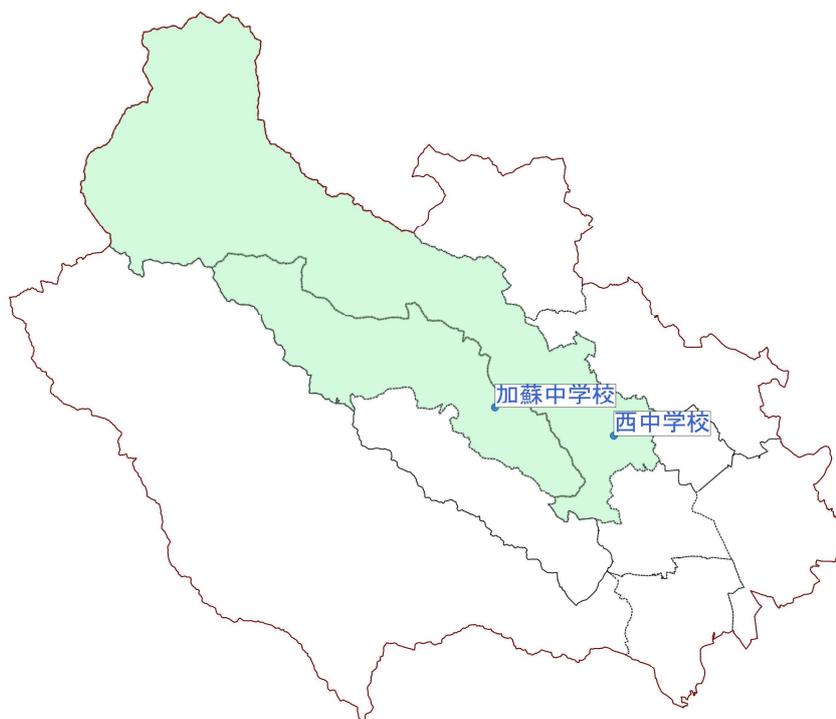
①西中学校

久保町・銀座1丁目・銀座2丁目・今宮町・仲町・麻苧町・石橋町・下材木町・寺町・蓬萊町・三幸町・鳥居跡町・下横町・西鹿沼町・日吉町・花岡町・天神町・戸張町・上材木町・千手町・坂田山1丁目・坂田山2丁目・坂田山3丁目・坂田山4丁目・下日向・上日向・深岩・引田・酒野谷・下沢・笹原田・村井町の一部・上殿町の一部・下大久保・上大久保・草久

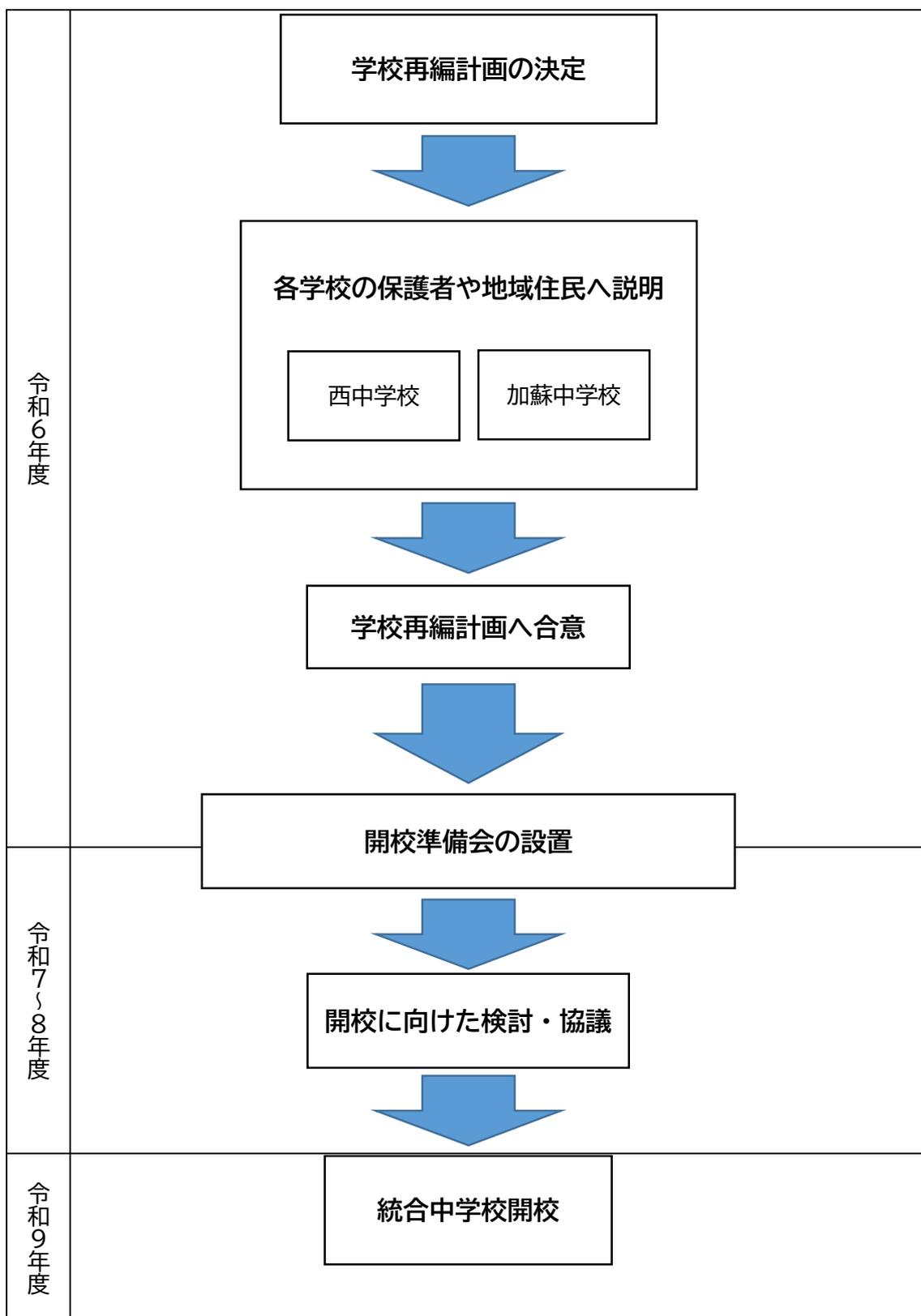
②加蘇中学校

野尻・加園・下久我・上久我

【通学区域図】



5 開校までのスケジュール



6 栗野地区・清洲地区・永野地区・粕尾地区ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、栗野小学校が適正規模校、清洲第1小学校、清洲第2小学校、永野小学校、粕尾小学校が小規模校となっています。児童数は、平成25年から令和5年までの10年間で、約50%減少しており、今後10年間で、さらに約40%減少することが見込まれていることから、5つの小学校の統合を推進し、適正規模を確保していきます。

2. 児童数の推移と今後の見込み

学校名	学年	平成25年	平成30年	令和5年	令和10年	令和15年
① 栗野小学校	1学年	18	8	10	6	8
	2学年	24	19	16	7	8
	3学年	30	24	10	13	8
	4学年	26	18	16	6	3
	5学年	30	31	17	7	2
	6学年	29	19	9	10	6
	計	157	119	78	49	35
② 清洲第1小学校	1学年	5	1	5	2	4
	2学年	19	6	6	7	4
	3学年	8	5	5	5	4
	4学年	15	6	5	4	6
	5学年	17	10	8	7	4
	6学年	23	5	1	5	2
	計	87	33	30	30	24
③ 清洲第2小学校	1学年	10	9	8	5	4
	2学年	10	2	7	3	4
	3学年	17	9	7	5	4
	4学年	11	6	6	6	3
	5学年	16	8	3	7	3
	6学年	11	10	10	7	5
	計	75	44	41	33	23
④ 永野小学校	1学年	4	3	3	4	3
	2学年	7	8	6	5	3
	3学年	6	3	2	5	3
	4学年	8	4	4	4	1
	5学年	7	3	0	4	4
	6学年	6	3	2	3	4
	計	38	24	17	25	18
⑤ 粕尾小学校	1学年	9	7	9	4	4
	2学年	8	2	5	6	4
	3学年	8	9	9	1	4
	4学年	9	2	4	11	2
	5学年	13	14	3	2	4
	6学年	7	7	8	9	4
	計	54	41	38	33	22
合計	1学年	46	28	35	21	23
	2学年	68	37	40	28	23
	3学年	69	50	33	29	23
	4学年	69	36	35	31	15
	5学年	83	66	31	27	17
	6学年	76	44	30	34	21
	計	411	261	204	170	122

3. 小学校の施設概要

	学校名	栗野小学校
	建築年（経過年数）	平成 26 年（10 年）
	構造／階層	木造／2 階建
	床面積／敷地面積	3,061 m ² ／14,988 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	清洲第1小学校
	建築年（経過年数）	平成 8 年（28 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	2,082 m ² ／13,345 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	清洲第2小学校
	建築年（経過年数）	昭和 60 年（39 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	1,539 m ² ／13,219 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	永野小学校
	建築年（経過年数）	昭和 48 年（51 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	2,003 m ² ／10,361 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	粕尾小学校
	建築年（経過年数）	昭和 46 年（53 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	1,819 m ² ／9,660 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 統合の対象となる地域の通学区域図

統合となる通学区域は、現在の栗野小学校、清洲第1小学校、清洲第2小学校、永野小学校、粕尾小学校の5校の通学区域を合わせた区域とします。なお、新校の通学区域内の町名は、次のとおりです。

①栗野小学校

口栗野・中栗野・入栗野・柏木

②清洲第1小学校

久野・深程の一部(清洲橋の西側の地域)

③清洲第2小学校

北半田・深程の一部(清洲橋の東側の地域)

④永野小学校

下永野・上永野

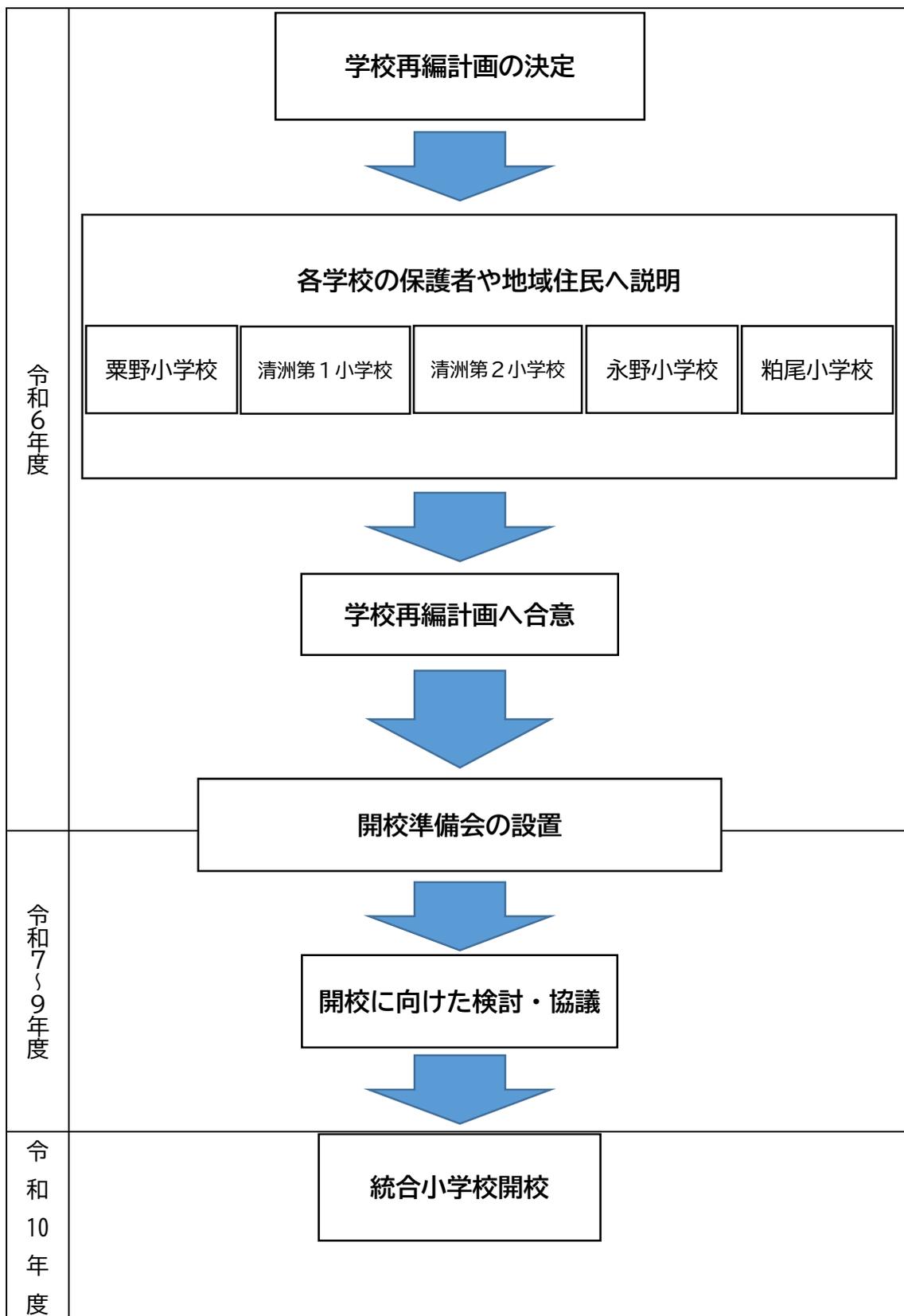
⑤粕尾小学校

下粕尾・中粕尾・上粕尾

【通学区域図】



5 開校までのスケジュール



7 南摩地区ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、南摩小学校、上南摩小学校、南摩中学校が小規模校となっています。平成25年から令和5年までの10年間で、児童数は約42%減少、生徒数は約27%減少しており、今後10年間で、さらに児童数が約58%減少、生徒数が約36%減少することが見込まれていることから、学校再編を検討し、適正規模の確保に努めていきます。

2. 児童生徒数の推移と今後の見込み

(1) 小学校

学校名	学年	平成25年	平成30年	令和5年	令和10年	令和15年
①南摩小学校	1学年	19	9	17	3	6
	2学年	19	14	6	7	6
	3学年	19	13	10	5	6
	4学年	17	10	13	7	2
	5学年	27	18	14	6	4
	6学年	14	20	10	16	3
	計	115	84	70	44	27
②上南摩小学校	1学年	3	1	1	0	2
	2学年	9	3	3	2	2
	3学年	2	1	3	4	2
	4学年	8	2	4	2	2
	5学年	1	6	2	1	0
	6学年	5	2	1	2	0
	計	28	15	14	11	8
合計	1学年	22	10	18	3	8
	2学年	28	17	9	9	8
	3学年	21	14	13	9	8
	4学年	25	12	17	9	4
	5学年	28	24	16	7	4
	6学年	19	22	11	18	3
	計	143	99	84	55	35

(2) 中学校

学校名	学年	平成25年	平成30年	令和5年	令和10年	令和15年
①南摩中学校	1学年	36	28	14	11	9
	2学年	30	19	17	13	9
	3学年	18	23	11	18	9
	計	84	70	42	42	27

3. 学校の施設概要

(1) 小学校

	学校名	南摩小学校
	建築年（経過年数）	昭和 62 年（37 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	2,176 m ² ／10,695 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	上南摩小学校
	建築年（経過年数）	平成 3 年（33 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	2,138 m ² ／11,676 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

(2) 中学校

	学校名	南摩中学校
	建築年（経過年数）	昭和 61 年（38 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	2,626 m ² ／19,101 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 再編の対象となる地域の通学区域図

現在の南摩小学校、上南摩小学校、南摩中学校の3校の通学区域は、次のとおりです。

①南摩小学校

佐目町・油田町・下南摩町・西沢町

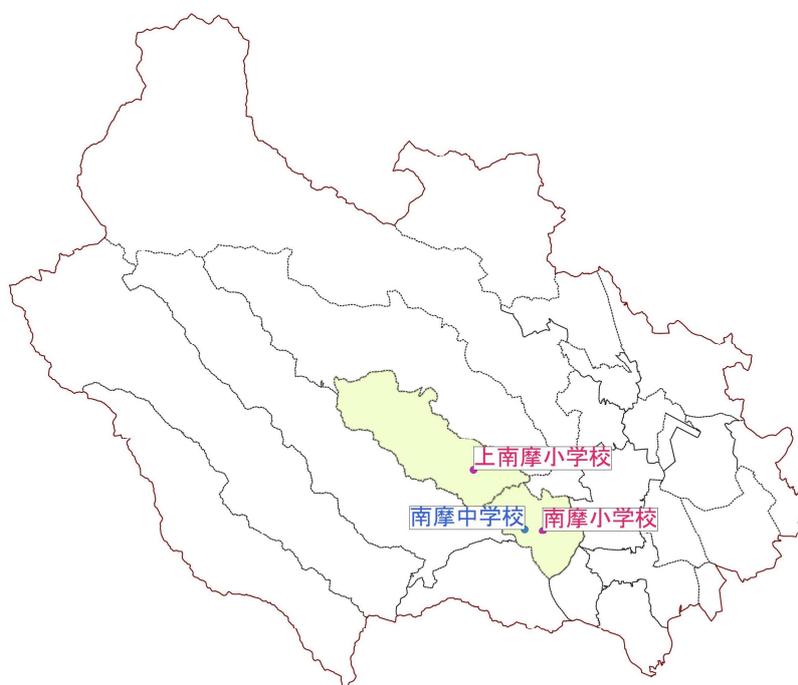
②上南摩小学校

上南摩町・旭が丘

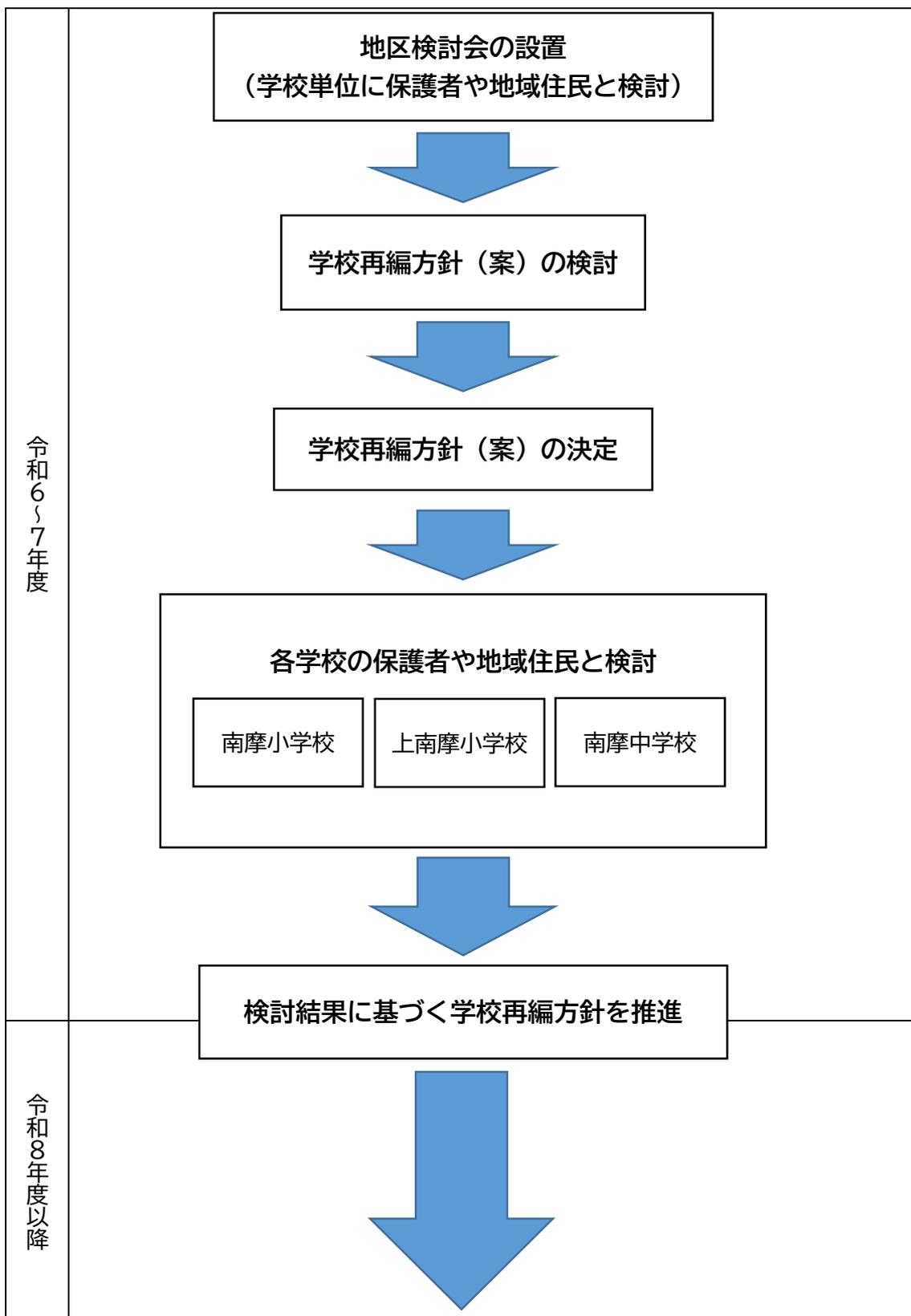
③南摩中学校

佐目町・油田町・下南摩町・西沢町・上南摩町・旭が丘

【通学区域図】



5 学校再編の検討スケジュール



8 板荷地区ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、板荷小学校、板荷中学校が小規模校となっています。児童数は、平成25年から令和5年までの10年間で、児童数は約36%減少し、生徒数は維持しておりますが、今後10年間で、さらに児童数が約66%減少、生徒数が約80%減少することが見込まれることから、学校再編を検討し、適正規模の確保に努めていきます。

2. 児童生徒数の推移と今後の見込み

(1) 小学校

学校名	学年	平成25年	平成30年	令和5年	令和10年	令和15年
① 板荷 小学校	1学年	16	13	5	3	3
	2学年	11	19	5	3	3
	3学年	7	9	4	2	3
	4学年	13	12	11	2	1
	5学年	13	13	9	5	3
	6学年	11	15	12	5	3
	計	71	81	46	20	16

(2) 中学校

学校名	学年	平成25年	平成30年	令和5年	令和10年	令和15年
② 板荷 中学校	1学年	5	11	17	5	3
	2学年	8	6	8	4	2
	3学年	20	13	9	9	2
	計	33	30	34	18	7

3. 小学校の施設概要

(1) 小学校

	学校名	板荷小学校
	建築年（経過年数）	平成2年（34年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3階建
	床面積／敷地面積	2,263㎡／15,672㎡
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

(2) 中学校

	学校名	板荷中学校
	建築年（経過年数）	平成7年（29年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3階建
	床面積／敷地面積	2,297㎡／18,293㎡
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 再編の対象となる地域の通学区域図

現在の板荷小学校、板荷中学校の2校の通学区域は、次のとおりです。

①板荷小学校

板荷

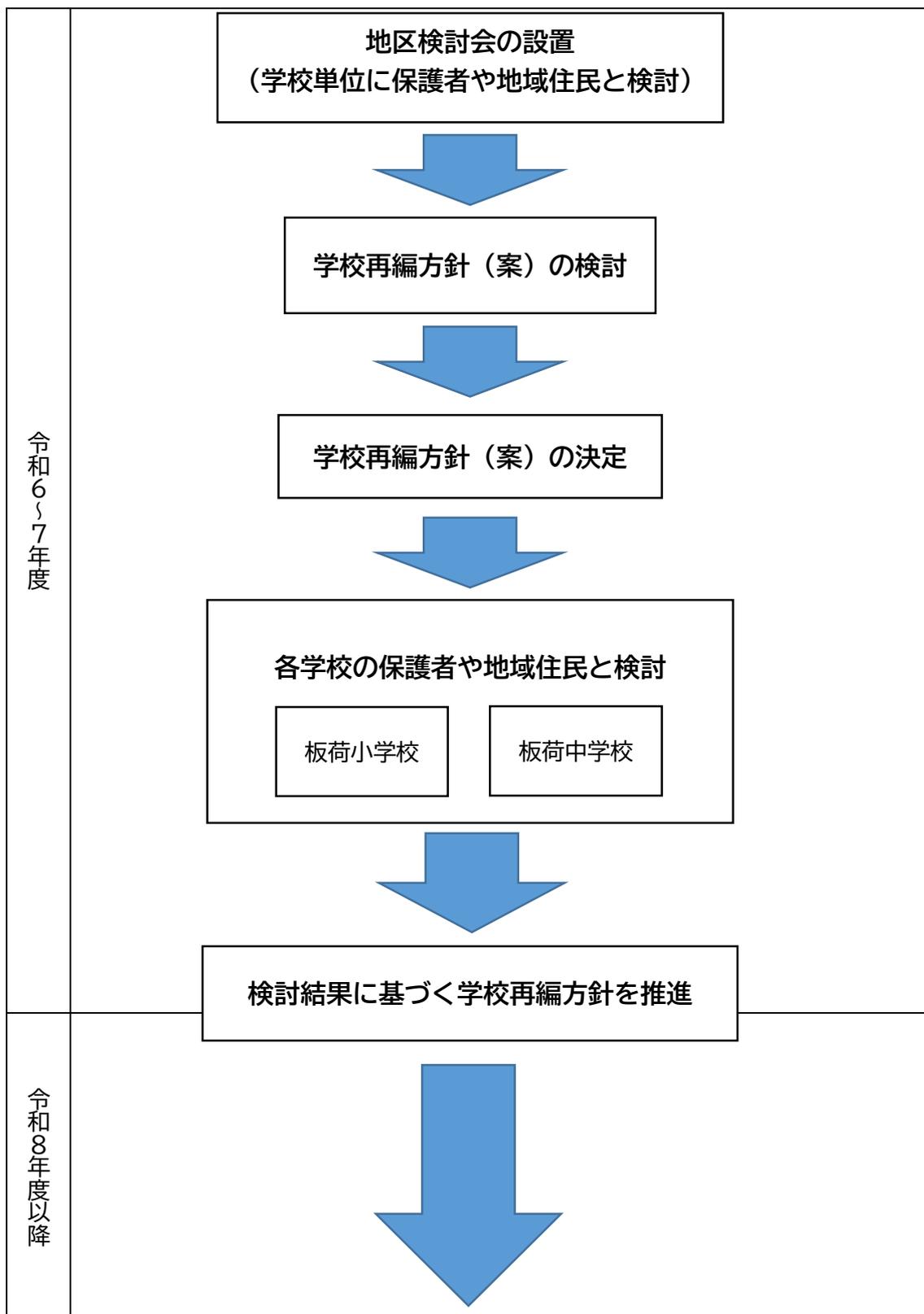
②板荷中学校

板荷

【通学区域図】



5 学校再編の検討スケジュール



9 南押原地区ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、みなみ小学校、南押原中学校が適正規模校、南押原小学校、楡木小学校が小規模校となっています。平成25年から令和5年までの10年間で、児童数は約50%減少し、生徒数は約27%減少しており、今後10年間で、さらに児童数が約33%減少、生徒数が約29%減少が見込まれています。

小学校の統合と通学区の見直しにより、適正規模を確保しつつ、地区内の中学校との新たな教育体制（小中一貫教育）を推進していきます。

2. 児童生徒数の推移と今後の見込み

(1) 小学校

※みなみ小学校は、南押原中学校区の児童数

学校名	学年	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年	令和 10 年	令和 15 年
①南押原小学校	1 学年	14	8	5	4	4
	2 学年	10	5	6	3	4
	3 学年	18	10	7	3	4
	4 学年	7	11	6	8	3
	5 学年	15	11	5	5	4
	6 学年	18	14	8	5	4
	計	82	59	37	28	23
②楡木小学校	1 学年	15	11	12	7	8
	2 学年	17	16	12	7	8
	3 学年	20	17	2	13	8
	4 学年	16	11	14	10	7
	5 学年	15	10	14	5	9
	6 学年	13	14	12	12	7
	計	96	79	66	54	47
※南上野町地区 ③みなみ小学校	1 学年	5	4	2	2	2
	2 学年	7	6	2	2	2
	3 学年	2	6	2	3	2
	4 学年	6	7	3	2	2
	5 学年	6	10	6	1	2
	6 学年	8	5	3	2	2
	計	34	38	18	12	12
合 計	1 学年	34	23	19	13	14
	2 学年	34	27	20	12	14
	3 学年	40	33	11	19	14
	4 学年	29	29	23	20	12
	5 学年	36	31	25	11	15
	6 学年	39	33	23	19	13
	計	212	176	121	94	82

(2) 中学校

学校名	学年	平成 25 年	平成 30 年	令和 5 年	令和 10 年	令和 15 年
①南押原 中学校	1 学年	41	30	23	18	11
	2 学年	35	39	31	10	18
	3 学年	36	28	28	24	20
	計	112	97	82	52	49

3. 小中学校の施設概要

①小学校

	学校名	南押原小学校
	建築年（経過年数）	昭和 63 年（36 年）
	構造／階層	木造・鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	2,127 m ² ／18,112 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	楡木小学校
	建築年（経過年数）	昭和 48 年（51 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	1,925 m ² ／10,454 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	みなみ小学校
	建築年（経過年数）	昭和 56 年（43 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	3,494 m ² ／32,600 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

②中学校

	学校名	南押原中学校
	建築年（経過年数）	昭和 60 年（39 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	3,176 m ² ／23,941 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 統合の対象となる地域の通学区域図

統合となる通学区域は、現在の南押原小学校、榆木小学校、みなみ小学校（一部）の3校の通学区域を合わせた区域とします。なお、統合小学校と中学校の通学区域内の町名は、次のとおりです。

①南押原小学校

磯町・野沢町・亀和田町・北赤塚町

②榆木小学校

榆木町・大和田町・藤江町

③みなみ小学校

南上野町 ※南押原中学校区のみ

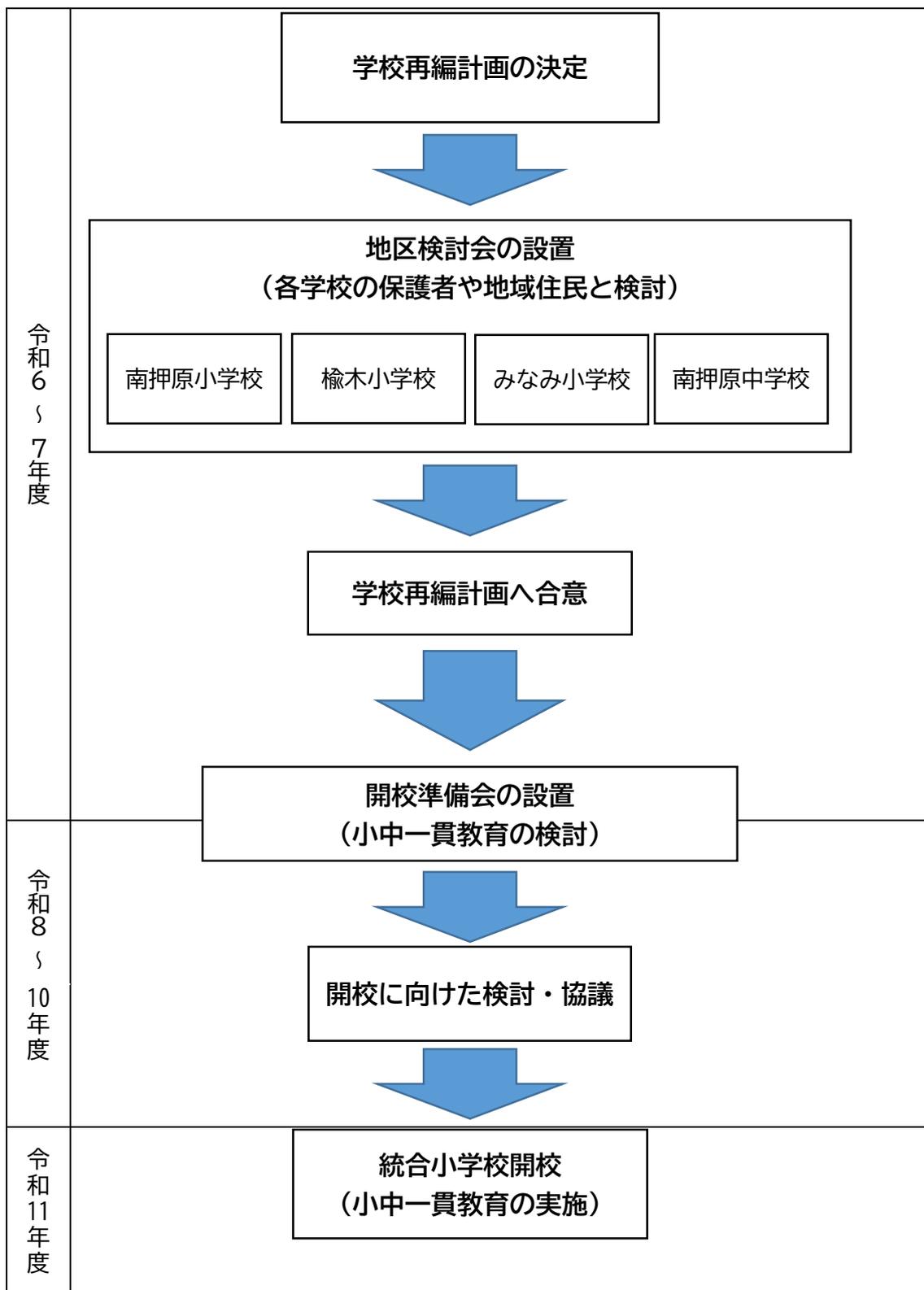
④南押原中学校

榆木町・磯町・野沢町・亀和田町・北赤塚町・藤江町・南上野町・大和田町

【通学区域図】



5 開校までのスケジュール



10 北犬飼地区ブロック

1. 学校の状況及び再編方針

この地区では、石川小学校、津田小学校、北犬飼中学校が適正規模校、池ノ森小学校が小規模校、さつきが丘小学校が大規模校となっています。平成25年から令和5年までの10年間で、児童数が約27%減少し、生徒数が約19%減少しており、今後10年間で、さらに児童数が約23%減少、生徒数が約22%減少する見込みとなっています。

北犬飼中学校は、適正規模校となっていますが、校舎建築から50年を経過し、建物の更新が必要な時期になっています。

地区内の小学校の統合と通学区域の見直しにより、適正規模を確保しつつ、老朽化が進んでいる中学校の校舎の更新に合わせて、新たな教育体制を導入し、義務教育学校の新設を推進していきます。

2. 児童生徒数の推移と今後の見込み

(1) 小学校

※さつきが丘小学校は、北犬飼中学校区の児童数

学校名	学年	平成25年	平成30年	令和5年	令和10年	令和15年
① 石川小学校	1学年	30	26	24	16	17
	2学年	38	27	27	24	17
	3学年	24	22	30	19	18
	4学年	26	31	26	23	29
	5学年	28	20	22	20	19
	6学年	33	29	27	21	16
	計	179	155	156	123	116
② 津田小学校	1学年	34	28	13	11	13
	2学年	45	33	22	12	14
	3学年	43	39	25	15	14
	4学年	49	35	20	15	10
	5学年	35	34	27	28	9
	6学年	63	33	28	16	11
	計	269	202	135	97	71
③ 池ノ森小学校	1学年	3	3	1	2	2
	2学年	3	3	1	1	2
	3学年	0	3	7	6	2
	4学年	1	3	4	0	2
	5学年	1	3	4	6	1
	6学年	4	3	3	1	2
	計	12	18	20	16	11
④ さつきが丘小学校 ※茂呂地区	1学年	22	15	22	23	21
	2学年	19	20	19	27	21
	3学年	25	14	19	21	21
	4学年	15	18	19	22	21
	5学年	21	26	18	27	23
	6学年	13	22	14	26	23
	計	115	115	111	146	130
合計	1学年	89	72	60	52	53
	2学年	105	83	69	64	54
	3学年	92	78	81	61	55
	4学年	91	87	69	60	62
	5学年	85	83	71	81	52
	6学年	113	87	72	64	52
	計	575	490	422	382	328

(2) 中学校

学校名	学年	平成25年	平成30年	令和5年	令和10年	令和15年
⑤ 北犬飼中学校	1学年	83	104	80	70	66
	2学年	101	87	73	79	58
	3学年	100	83	79	66	59
	計	284	274	232	215	183

3. 小中学校の施設概要

(1) 小学校

	学校名	石川小学校
	建築年（経過年数）	昭和 59 年（40 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	2,460 m ² ／25,224 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	津田小学校
	建築年（経過年数）	昭和 63 年（36 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	3,696 m ² ／19,750 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	池ノ森小学校
	建築年（経過年数）	平成元年（35 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	2,075 m ² ／14,135 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

	学校名	さつきが丘小学校
	建築年（経過年数）	昭和 50 年（49 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／3 階建
	床面積／敷地面積	6,700 m ² ／26,487 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

(2) 中学校

	学校名	北犬飼中学校
	建築年（経過年数）	昭和 49 年（50 年）
	構造／階層	鉄筋コンクリート造／2 階建
	床面積／敷地面積	4,567 m ² ／33,008 m ²
	構成施設	校舎、屋内運動場ほか
	大規模改修年	—

4 統合の対象となる地域の通学区域図

統合となる通学区域は、現在の石川小学校、津田小学校、池ノ森小学校、さつきが丘小学校（一部）の4校の通学区域を合わせた区域とします。なお、義務教育学校の通学区域内の町名は、次のとおりです。

①石川小学校

上石川・下石川・さつき町・流通センター

②津田小学校

深津・白桑田・松原1丁目・松原2丁目・松原3丁目・松原4丁目

③池ノ森小学校

池ノ森

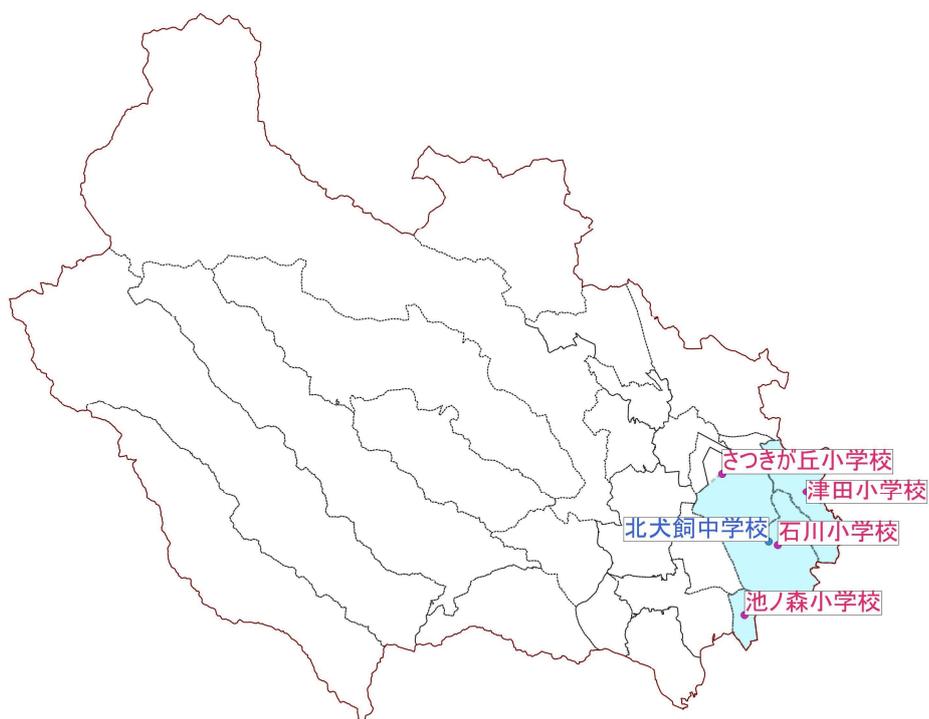
④さつきが丘小学校

茂呂 ※北犬飼中学校区のみ

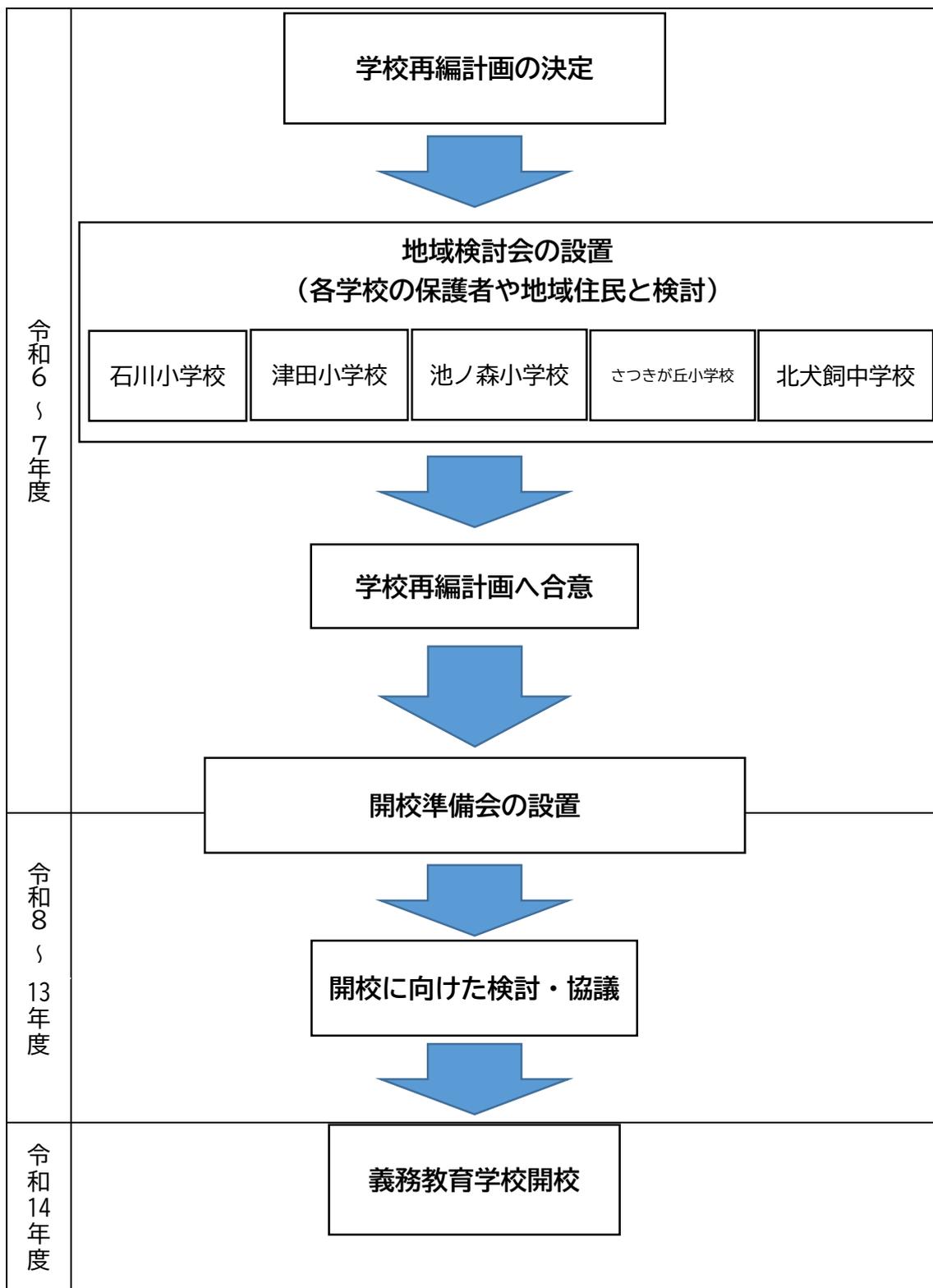
⑤北犬飼中学校

上石川・下石川・深津・白桑田・池ノ森・さつき町・茂呂・流通センター・
松原1丁目・松原2丁目・松原3丁目・松原4丁目

【通学区域図】



5 開校までのスケジュール



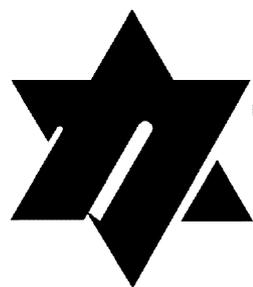
**鹿沼市立小中学校再編計画
前期実施プラン**

発行者：鹿沼市 教育委員会事務局 学校再編推進室

住 所：〒322-0064 栃木県鹿沼市文化橋町 1982-18

T E L：0289-63-8367 F A X：0289-63-2118

M A I L：saihen@city.kanuma.lg.jp



KANUMA CITY

鹿沼市